

令和3年度 事業報告書

自：令和3年 4月 1日
至：令和4年 3月31日

公益社団法人秋田県青果物基金協会

令和3年度事業報告書

I 事業報告書

1 事業の概要

令和3年度における実施事業は下記のとおりであり、公益目的事業並びに収益事業等のその他附随事業を実施した。

事業区分	事業名等	備考
公益目的事業 (公1)	[1] 秋田県園芸作物価格補償事業作物	県単事業
	[2] 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	国庫事業
	[3] 果樹経営支援対策事業（果樹未収益期間支援事業を含む）	国庫事業
公益事業等の その他附随事業 (他1)	[1] 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業	
	[2] 指定野菜価格安定対策事業に係る受託事務	
	[3] 野菜指定産地状況調査事業	
	[4] 端境期等対策産地育成強化支援事業	

2 本年度の園芸作物概況

■ 本年度における青果物の生育、生産概況については、令和2年12月からの県南部を中心とした記録的な大雪により、果樹及び大型団地を含めたビニールハウスの倒壊など大きな被害が発生し、葉物類や果菜類の作付けを断念するなど生産にも影響を及ぼし、あわせて除雪作業に大きな労力が費やされ、何時雪解けするか心配されたが、3月に入ると暖かい日が続き雪解けは一気に進んだ。

しかしながら、4月の低温、降雨や霜の影響により、露地のアスパラガスは例年より遅い出荷となり数量も伸び切らないまま立茎を迎えた。また、5月中旬以降のぐずついた天候は枝豆などの播種作業の遅れや発芽不良などの影響をもたらし、6月、7月には局地的な大雨や降雹が発生した。6月以降は気温が高く空梅雨で梅雨明けも早く、生育は一気に進み、東北の各産地は前進出荷となり果菜類を中心に集中出荷がお盆まで続いた。トマトについては高温の影響による花飛びが見られた。盆明け以降気温は低下し、9月中旬以降は天候も回復したものの出荷は伸び悩んだ。ねぎは夏場の高温で太りが心配されたが気温の低下と共に生育は回復し、菌床椎茸と共に稲刈り終了以降の出荷は概ね順調に経過し、10月以降にあっても概ね良好な天候により秋冬ねぎは順調な生育と出荷となった。

■ 本年度における青果物の販売概況については、春商材のアスパラガスは連休明けから各産地増量となったが、降雨や雹害、春芽が少なかった影響もあり数量減の単価高で推移した。また、菌床椎茸は大雪の影響で出荷がずれ込むとともに他産地の出荷増、消費地の高い気温により8月一杯まで近年にない低調な販売が続いた。

本県主要品目のきゅうり、トマト、枝豆等の夏秋品目は、一時的な生育の停滞は見られたものの、梅雨明けが早かったことで生育は前進、他の東北産地の集中出荷により相場は低迷し、8月の需要期には品薄傾向から一転し高値基調となったが、枝豆は8月下旬に入っても関東産の競合産地が概ね潤沢であったことから販売は苦戦した。

秋冬商材に入っても、9月の一時的な高騰はあったものの、台風の上陸も少なく関東以西の天候も順調に推移し、出荷は潤沢で豊作基調となり大型野菜を中心に相場は低迷した。また、消費地における平均気温が高目で推移していることから鍋物需要が低調となり、ねぎ、椎茸については前年を下回る販売状況となった。

令和2年は新型コロナウイルスに対する情報が少ない中ででの巣ごもりによる家庭内需要が業務用需要の減少を上回る形で野菜全体の消費は支えられたが、本年は新型コロナウイルス対策が進んだことで買いためなどの巣ごもり需要は縮小し、飲食店等の営業は再開されているものの間引き営業と消費者の自粛継続など業務用需要の戻りは鈍い状況となった。

【すいか】にあっては、大雪により消雪の遅れが懸念されたが3月に入ると気温が高く推移し平年並みの消雪となった。

4月中旬頃より定植が開始され、下旬頃には低温の影響を受け生育が停滞したことでトンネル栽培の交配期が4日前後の遅れが見られた。その後好天により、普通栽培は前進傾向で生育が進み、出荷開始については各産地7月20日前後と平年並みのスタートとなった。

販売状況については、県内産が出荷開始となった7月中旬頃は熊本、鳥取、千葉産などの前段産地が前進傾向で出荷が進んだことにより品薄感がある中での販売スタートとなり、一大消費地である関東、関西の梅雨明けが7月16・17日と昨年より2週間も早く、好天続きで順調な販売となった。7月下旬には主産地である山形、新潟、長野産がピークに入り、出回りは多くなったものの高温・干ばつ傾向による前進出荷と消費地の好天により8月盆前まで堅調な販売となった。

旧盆に入り消費地では降雨が続き、盆前に抱えた在庫もあり荷動きが止まったことで厳しい販売となったものの、盆後の出荷量が少なかったことから終始高単価での販売となり、総体的には、県内の出荷開始から出荷ピーク時まで消費地の天候が良好であったことにより、堅調な販売となり前年を上回る実績となった。

【りんご】にあっては、県南部を中心に大雪の影響から消雪の遅れが懸念されたが、3月に入り気温が高い日が続いたため平年並みの消雪となった。4月に入ると急激な気温低下に伴い降霜が発生するなど各産地に大きな被害が発生した。開花期は平年より3～5日早く、開花量は平年並みとなり、園地差は見られるものの結実については概ね平年並みとなった。7月に入り高温・干ばつ傾向で進んだことで果実肥大については小玉傾向で推移した。

販売状況については、県南部を中心とした大雪による雪害と4月の降霜害により総体的に生産量の減少が見込まれる中、早生種が出荷開始となった9月上旬については、全

国的な春先の降霜害の発生や前段の主要産地の前進化傾向による出荷から出回りが少なく、終始高単価での販売となった。（つがる実績前年比：数量73%、金額108%）

中生種が出荷開始となった10月上旬については、早生種に続き全国的に数量減となったことや、競合品目の出回りも多くなかったことから高単価で販売終了となった。

晩生種については、県内主力の「ふじ」が出荷開始となった11月上旬には、長野県産を始め前進傾向の出荷や全国的な降霜害による出荷減により、出回りが少なく高単価で推移した。全国的に小玉傾向で贈答向けの大玉が少ない傾向にあったことからギフト需要が高まった。12月に入ると高値販売が続き、各量販店の販売は苦戦が強いられたが、依然として出荷量が少なく他の競合品目も同様な傾向から堅調な販売となった。

なお、本年産のりんご販売は、全国的な数量減による単価高での販売となったものの雪害、降霜害等の自然災害による大幅な収穫、出荷減となり前年を下回る販売実績となった。

【菊類】については、豪雪被害による作業遅れも多くは見られず、春作業のスタートは順調な滑り出しとなった。春先の低温から以降の曇天、長雨、さらには県南地区を中心とした降雹被害と例年にも増して厳しい天候状況の中での栽培となった。

旧盆需要にあたっては直前まで遅れ気味の傾向が見られたものの取り返し、概ね最需期間における出荷がなされることとなった。但し、本年度の天候から品種間の生育差が大きかったことで残花が多く見られる産地もあった。

秋彼岸においても大きく需要期から外れない形で出荷がなされたが、酷暑の影響から旧盆同様に大きなピークの山が来ることは無くダラダラ出荷となった。

昨年度に比較し、コロナウイルス禍でも幾分業務需要が動き出しているものの、こと葬儀にあたっては小規模での開催がスタンダード化してきている。輪菊についてはその影響を大きく受け、シーズンを通し厳しい販売状況が続いた。

一方、本年度も航空便を中心とする輸入商材の入荷は安定せず、SP菊においては輸入品から国産品へのシフトによる引き合いの強まりが見られた。

【りんどう】については、スムーズな雪消えから、昨年度以上に株の動き出しは早くスタートした。酷暑による影響から丈は短く、生育は大きく前倒しで推移した。本年度は7月20日以降本格的に増量、7月末にピークを迎える産地も見られた。

旧盆向け需要にあたっては8月に入り仕入れが本格化する中で、一定水準での出荷は続いたものの、大きなピークは無くダラダラ出荷が続いた。

秋彼岸においても大きなピークは無く、市場においても入荷数量がダブつくことなくスムーズな販売が続いた。加えて色物品種の出荷が安定していた半面、スタンダードの青が少なく引き合いが強まる場面が見られた。

旧盆、秋彼岸通して、秋田県を含む高冷産地全体における生育の前倒し傾向から、最需期本番においては比較的品薄感の漂う販売が続いたことで、シーズン中は大きな値崩れも無く、堅調な販売が続いた。

【ダリア】については、昨年度、コロナウイルス禍で販売環境に大きく影響を受けた品目であったが、本年度は幾分回復傾向が見られた。特にホームユース需要に向けた小輪形の品種の引き合いの強まる場面が見られ、加えて、感染拡大状況を考慮しながら婚礼需要

も動き出し、出口がハッキリした注文品については堅調な販売となった。一方、酷暑の影響から花持ちは悪く、小売店での仕入は消極的で、セリ場においてはやや軟調な販売が続いた。

生育においては、酷暑の影響から株落ちや欠株が散見され、各産地早出しの出荷数量は少なく推移した。以降、秋口に入っても大きな数量増は見られず、ジリジリとピークを迎えていく形となった。9月までの天候から、10月は一気に冷え込み、大きく出荷数量は減少した。露地物の切り上りもチラホラ見えてきた中で、その後は一時の寒さから一転して暖かい日が続いたことで、ダラダラとした出荷が11月も続いた。

昨年度の販売状況から、他の主要産地においても作付けを減らしている中、極端な供給の波が来ている現状ではあるが、秋田県においても高値相場の時期に出荷したいものの、物が無いという歯痒い場面も度々見られた。

3 価格安定事業並びに果実関係事業の実績

[1] 価格安定事業の実績

(単位：ト・千本・鉢・千円)

事業名	区分	補給金交付予約等				補給金交付実績 (R3交付実績)			
		交付予約数量		交付限度額		対象数量	補給金交付額		
			前年比		前年比			前年比	交付率
秋田県園芸作物 価格補償事業	野菜	3,142	94	261,085	92	1,105	46,839	241	18
	花き	9,432	70	127,091	65	910	7,186	44	6
	計	—	—	388,176	81	—	54,025	150	14
特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業	野菜	8,105	90	466,051	90	555	22,745	218	5
計	野菜	11,247	91	727,136	91	1,660	69,584	233	10
	花き	9,432	70	127,091	65	910	7,186	44	6
	計	—	—	854,227	86	—	76,770	165	9

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

[2] 果実関係事業の実績

(単位：㎡・鉢・千円)

事業名		事業実施計画				事業実施実績 (R3交付実績)			
		対象面積		補助金額等		対象面積		補助金額等	
			前年比		前年比		前年比		前年比
果樹経営支援 対策事業	R2 計画 (次年度春 改植等)					77,447	167	20,821	222
果樹未収益期間 支援事業						77,447	167	16,655	168
計						—	—	37,476	194
果樹経営支援 対策事業	R3 計画 (初年度春 秋改植等)	47,052	59	11,088	52	13,371	671	2,616	772
果樹未収益期間 支援事業		47,052	59	10,351	61	13,371	671	2,942	672
計		—	—	21,439	56	—	—	5,558	715
合計		—	—	21,439	56	—	—	43,034	214

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

4 公益目的事業の実績

[1] 秋田県園芸作物価格補償事業（県単事業）

令和3年度事業にあつては、業務対象年間（R01～R03）の最終年度に当たり下記のとおり事業に取り組んだ。

当該事業に係る野菜の交付予約数量は、**3,142** トン（前年比 **94** ٪）と減少し、花きの交付予約数量は、**9,432** 千本（前年比 **70** ٪）と4,058千本もの減少となる中、これに伴う野菜の補給金交付限度額 **261,085** 千円及び花きの補給金交付限度額 **127,091** 千円で当該事業の総補給金交付限度額は **388,176** 千円（前年比 **81** ٪）と **89,750** 千円の減少となった。

野菜関係における事業対象出荷数量は、**6,074** トン（出荷率 **193** ٪・前年比 **103** ٪）で、当該事業の価格差補給交付金対象数量は、**1,105** トン、交付額は、**46,839** 千円（前年比 **241** ٪）で、補給金限度額に対する交付率は **18** ٪となった。

花き関係における事業対象出荷実績は、**21,141** 千本（出荷率 **224** ٪・前年比 **90** ٪）で、当該事業の価格差補給交付金対象数量は、**910** 千本、交付額は、**7,186** 千円（前年比 **44** ٪）で、補給金限度額に対する交付率は **6** ٪となった。

よって、当該事業における補給金交付金額は **54,025** 千円（前年比 **150** ٪）で補給金限度額に対する交付率は **14** ٪となった。

対象品目数は、27品目中 **19** 品目でその交付額等の明細は、下記のとおりとなった。

[1] 交付予約数量及び補給金限度額等

（単位：トン・千本・%・千円）

区分	交付予約数量		補給金交付限度額		備考
		前年比		前年比	
野菜	3,142	94	261,085	92	
花き	9,432	70	127,091	65	
計			388,176	81	

[2] 出荷実績・対象数量及び補給金交付額等

（単位：トン・千本・%・千円）

区分	事業対象出荷数量			補給金交付対象数量	価格差補給交付金額		
	出荷率	前年比			交付率	前年比	
野菜	6,074	193	103	1,105	46,839	18	241
花き	21,141	224	90	910	7,186	6	44
計					54,025	14	150

[3] 対象品目及び補給金交付額

（単位：千円）

対象品目	補給金交付額	対象品目	補給金交付額	対象品目	補給金交付額
キャベツ	92	ミニトマト	5,069	みょうが	633
ほうれんそう	541	ピーマン	8	メロン(ネット系)	0
ねぎ	17,442	ししとうがらし	531	輪菊	158
うど	0	さやいんげん	26	小菊	271
きゅうり	15,554	さやえんどう	0	トルコギキョウ	0
かぼちゃ	304	そらまめ	108	りんどう	6,643
米なす	1,042	えだまめ	4,472	ダリア	114
トマト	881	ばれいしょ	137		
交付額計					54,025

（注）今年度交付予約申込の無い「だいこん・チンゲンサイ・アスパラガス・スイートコーン」は、未掲載である。

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

[2] 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（国庫事業）

令和3年度事業にあつては、前年度補給金の対象及び交付予約申込数量の増減のあつた野菜の業務区分について業務対象年間の短縮（全面短縮）を行い、事業に取り組んだ。

当該年度の交付予約数量は **8,105** トン（前年比 **90** ٪）となり、これに伴う補給金交付限度額は、**466,051** 千円（前年比 **90** ٪）となつた。

事業対象出荷数量は、**6,836** トン（出荷率 **84** ٪・前年比 **94** ٪）で、当該事業の価格差補給交付金対象数量は、**555** トン、交付額は、**22,745** 千円（前年比 **218** ٪）で、補給金限度額に対する交付率は **5** ٪となつた。

対象品目数は7品目中4品目で、その交付額等の明細は、下記のとおりとなつた。

[1] 交付予約数量及び補給金限度額等

（単位：トン・千本・％・千円）

区分	交付予約数量		補給金交付限度額		備考
		前年比		前年比	
野菜	8,105	90	466,051	90	

[2] 出荷実績・対象数量及び補給金交付額等

（単位：トン・千本・％・千円）

区分	事業対象出荷数量			補給金交付対象数量	価格差補給交付金額		
	出荷率	前年比			交付率	前年比	
野菜	6,836	84	94	555	22,745	5	218

[3] 対象品目及び補給金交付額

（単位：千円）

対象品目	補給金交付額	対象品目	補給金交付額	対象品目	補給金交付額
さやいんげん	—	すいか	0	アスパラガス	61
えだまめ	17,453	生しいたけ	2,215		
やまのいも	3,015				
交付額計					22,745

（注）アスパラガスは、重要特定野菜である。

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

[3] 果樹経営支援対策事業（果樹未収益期間支援事業を含む）（国庫事業）

平成19年度からスタートした事業で、令和3年度は4期対策（1期5カ年：R02～R06）の2年目となり、事業内容は、産地自らが策定した産地構造改革計画に基づき、担い手の育成・確保及び優良品種・品目への改植、園地の基盤整備等による果樹産地の構造改革を進めるとともに、改植等においては2カ年の年度またがり可能な事業である。

令和3年春植え改植（R2年度計画承認で事業実施は、次年度改植等を実施）の実績は、下記のとおりとなつた。

（単位：園地・㎡・千円）

区分	令和2年度全体実績			同左のうち令和3年度交付実績			
	園地数	実施面積	補助金交付額	園地数	実施面積	補助金交付額	支払額等
支援対策	42	79,440	21,160	39 2	68,991 8,456	18,115 2,706	32,910 (R3.7.30)
未収益	42	79,440	17,093	39 2	68,991 8,456	14,795 1,860	4,566 (R4.1.11)
計	—	—	38,253	—	—	37,476	

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

令和3年度事業にあつては、優先配分の実施が無かつた第1次実施計画（5月17日期限）及び令和2年12月雪害に伴う自然災害対応の実施計画（7月20日提出）の取りまとめを行い、計画通りの補助金交付決定等を受けた。

なお、昨年来より多くの自然災害が発生し全国的に被害が広がりその災害普及に向けた予算措置が必要なことから国庫予算が逼迫している状況から第2次実施計画（9月末）の取りまとめは中止した。

区 分	計画承認日	補助金 交付決定日	備 考
■ 第1次実施計画（5月17日期限）	R03.06.01	R03.06.29	優先配分未実施
■ 自然災害対応（7月20日申請）	R03.08.03	R03.09.06	

なお、上記の取りまとめに伴う事業計画は、下記のとおりとなった。

（単位：園地・畝・m²・千円）

対象事業 メニュー		令和3年度実施計画承認分							
		対象園地		計画面積		補助金額			
		前年比	前年比	前年比	前年比	初年度 完了分	次年度 完了分	合計	前年比
実施 計画 画 総 括 表	改 植	31	141	28,121	123	2,616	3,186	5,802	100
	新 植	5	25	18,931	33	0	5,286	5,286	34
	園地整備	—	—	—	—	—	—	—	—
	用水・灌水	—	—	—	—	—	—	—	—
	特認事業	—	—	—	—	—	—	—	—
	整備事業計	36	86	47,052	59	2,616	8,472	11,088	52
	未収益計	36	86	47,052	59	2,942	7,410	10,351	61
	合 計	—	—	—	—	5,558	15,882	21,439	56

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

また、令和3年度計画のうち初年度の改植等の実績は、下記のとおりとなった。

（単位：園地・m²・千円）

区分	令和3年秋植え改植等実績				備 考
	園地数	実施面積	補助金 交付額	支払額等	
支援対策	14	13,371	2,616	R4.1.11	
未収益	14	13,371	2,942		
計	—	—	5,558		

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がありますのでご注意ください。

5 その他の事業（本県青果物等の安定的な生産出荷及び供給に附随する事業）

[1] 野菜生産出荷安定資金造成円滑化事業（国庫事業）

令和3年度事業にあつては、交付予約数量は4,757ト（前年比85%）となり、これに伴う補給金交付限度額は、350,205千円（前年比86%）で秋田県補助金の資金造成額は、70,039千円（前年比86%）で負担軽減後の造成額は、35,018千円（前年比86%）となり、当該年度必要造成額は、5千円（前年比0.1%）となったが、特別業務資金残等（58,185千円）からの繰入造成を行ったことにより本年度納付金の納付は無く、次年度に繰り越される秋田県分特別業務資金の残高は、58,180千円となった。

[2] 指定野菜価格安定対策事業に係る受託事務

独立行政法人農畜産業振興機構（以下「機構」という。）が実施する指定野菜価格安定対策事業（以下「指定野菜事業」という。）について、全国農業協同組合連合会秋田県本部と委託契約に基づき、交付予約申込、交付準備金造成、平均販売価額の通知及び価格差補給交付金の配分・通知等の「一般事務の受託事務」を実施した。

[3] 野菜指定産地状況調査事業

県内の野菜指定産地における生育及び出荷状況等を調査する事業であつて、機構が毎年公募するもので、令和3年度にあつては、野菜指定産地2箇所（「鹿角の夏秋きゅうり」及び新規「能代の秋冬ねぎ」）において調査を実施することとなり、「6月～11月の間、延べ8回」当該野菜指定産地に出向いて生育及び出荷状況を調査し機構に報告した。

[4] 端境期等対策産地育成強化支援事業

平成26年度からの事業で、近年、異常気象や連作障害により野菜の作柄が不安定となる中、加工・業務用野菜の輸入が増加する状況にあり、輸入野菜からのシェア奪還に向け加工・業務用野菜への転換を推進する産地を対象に、加工・業務用野菜の安定供給に必要な土壌・土層改良、被覆資材の使用等の作柄安定技術を導入する場合に3年間（事業期間は5カ年）支援する（支援額：10a当たり1年目7万円、2年目5万円、3年目3万円。（平成29年度より1年目15万円/10aとなる運用改善が実施された。））事業であつて、JA全農秋田県本部が事業の採択を受け「端境期等対策産地育成強化推進事業」に取り組んでいる。
※ R2年度より事業期間は3カ年に短縮された。）

区分	対象品目	取組面積	補助金交付額					計	最終成果報告
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
H26	キャベツ	45.3 ^{ヘクタール}	31,710	22,650	13,590	事業継続期間		67,950	R元
H27	キャベツ	5.2 ^{ヘクタール}	3,640	2,600	1,560	事業継続期間		7,800	R2
	ねぎ	11.3 ^{ヘクタール}	7,910	5,650	3,390	事業継続期間		16,950	
H28	キャベツ	12.2 ^{ヘクタール}	8,540	6,100	3,660	事業継続期間		18,300	R3
	ねぎ	6.3 ^{ヘクタール}	4,410	3,150	1,890	事業継続期間		9,450	
H29	ねぎ	11.4 ^{ヘクタール}	17,100	事業継続期間				17,100	R4
H30	キャベツ	9.6 ^{ヘクタール}	14,400	事業継続期間				14,400	R5
	ねぎ	5.7 ^{ヘクタール}	8,550	事業継続期間				8,550	
R元 R02 R03	応募・採択品目なし								

このため、本協会が応募時には県と協議の上、計画が適当であるか、事業実施中も計画通り事業が実施されているか等について確認を行うなど、加工・業務用野菜の計画かつ安定的な生産出荷に関する事業として位置づける「端境期等対策産地育成強化支援事業」を実施し当該推進事業の円滑かつ適正な実施を図るため取り組んだ。

6 主要業務の内容

[1] 総 会

令和3年度 第51回通常総会

- ◇ 開催日時 令和3年6月30日 13時40分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 9階 コンベンションホール
- ◇ 会員出席状況 議決権の総数……50会員
出席会員……50会員
実出席……15会員
委任出席……2会員
書面出席……33会員
- ◇ 提出議案
 - 第1号議案 令和2年度事業報告の承認に関する件
 - 第2号議案 令和2年度財務諸表の承認に関する件
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員を選任に関する件

【退任役員：理事 2名】

役員区分	氏 名	所 属 等
理 事	小 原 正 彦	秋田おばこ農業協同組合 代表理事組合長
	武 藤 隆 繁	前全国農業協同組合連合会秋田県本部 園芸畜産部長

【就任役員：理事 9名・監事 3名】

【役員任期：令和3年の通常総会終結の時から令和5年の通常総会終結の時まで】

役員区分	氏 名	所 属 等
理 事	佐 藤 謙 悦	あきた白神農業協同組合 代表理事組合長
	小 林 肇	大潟村農業協同組合 代表理事組合長
	鈴 木 重 忠	秋田おばこ農業協同組合 代表理事専務
	高 橋 大	横手市長
	渡 邊 彦兵衛	五城目町長
	渋 谷 重 春	秋印秋田中央青果株式会社 代表取締役社長
	斉 藤 一 志	全国農業協同組合連合会秋田県本部 運営委員会会長
	佐 藤 英 一	全国農業協同組合連合会秋田県本部 副本部長
	吉 田 良	全国農業協同組合連合会秋田県本部 園芸畜産部長
監 事	菅 原 俊 二	かづの農業協同組合 代表理事組合長
	佐 藤 茂 良	秋田しんせい農業協同組合 代表理事専務
	柿 崎 大 二 朗	秋田ふるさと農業協同組合 代表理事専務

[2] 理 事 会

令和3年度 第1回理事会

- ◇ 開催日時 令和3年6月2日 11時00分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 5階 役員会議室
- ◇ 理事出席状況 理事の総数…………… 9名
出席理事…………… 8名
出席監事…………… 2名
- ◇ 提出議案
 - 第1号議案 令和2年度事業報告の承認に関する件
 - 第2号議案 令和2年度財務諸表の承認に関する件
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員の選任に関する件
 - 第4号議案 第51回通常総会の開催日時、場所並びに提出する議案並びに第2回理事会（役員被選任者会議）の開催に関する件
 - 第5号議案 果樹農業生産力増強総合対策事業に係る業務方法書並びに同実施細則の一部変更に関する件
 - 第6号議案 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る業務方法書実施細則の一部変更に関する件

令和3年度 第2回理事会

- ◇ 開催日時 令和3年6月30日 14時15分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 9階 第3小会議室
- ◇ 理事出席状況 理事の総数…………… 9名
出席理事…………… 7名
出席監事…………… 3名
- ◇ 提出議案
 - 第1号議案 会長1名並びに副会長1名の互選に関する件

【会長理事 1名・副会長理事 1名】

役員区分	氏 名	所 属 等
会長理事	齊 藤 一 志	全国農業協同組合連合会秋田県本部 運営委員会会長
副会長理事	佐 藤 謙 悦	あきた白神農業協同組合 代表理事組合長

令和3年度 第3回理事会

- ◇ 開催日時 令和3年12月3日 11時00分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 5階 役員会議室
- ◇ 理事出席状況 理事の総数…………… 9名
出席理事…………… 7名
出席監事…………… 3名
- ◇ 報告事項
報告事項第1号 令和3年度事業報告並びに財務状況報告に関する件
- ◇ 協議事項
協議事項第1号 秋田県園芸作物価格補償事業に係る業務対象年間の移行に伴う基準額等の変更に関する件
協議事項第2号 事務費負担金単価の見直しに関する件
- ◇ 提出議案
第1号議案 価格安定事業に係る価格差補給交付金に関する件
(令和3年度上期(9月末))

令和3年度 第4回理事会

- ◇ 開催日時 令和4年3月18日 11時00分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 5階 役員会議室
- ◇ 理事出席状況 理事の総数…………… 9名
出席理事…………… 6名
出席監事…………… 3名
- ◇ 報告事項
報告事項第1号 令和3年度実施事業状況報告に関する件
- ◇ 協議事項
協議事項第1号 令和3年度収支決算見直しに関する件
- ◇ 提出議案
第1号議案 価格安定事業に係る価格差補給交付金の件(令和3年度下期)
第2号議案 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る業務方法書実施細則の一部変更に関する件
第3号議案 秋田県園芸作物価格補償事業に係る業務方法書実施細則の一部変更に関する件
第4号議案 事務費負担金徴収要領の一部変更に関する件
第5号議案 令和4年度事業計画書(案)の承認に関する件
第6号議案 令和4年度収支予算書(案)の決定に関する件
第7号議案 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みに関する件

[3] 監査及び検査等

令和3年度 決算監査

- ◇ 開催日時 令和3年5月14日 11時00分
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 9階 第1小会議室
- ◇ 監事出席状況 出席監事…………… 3名
- ◇ 監査事項
 - 監査事項第1号 令和2年度事業報告に関する件
 - 監査事項第2号 令和2年度財務諸表に関する件

令和3年度 公益法人の立入検査

- ◇ 開催日時 令和3年12月23日 10時00分～
- ◇ 開催場所 秋田県JAビル 9階 第1小会議室
- ◇ 立入検査員 秋田県総務部 総務課…………… 1名
秋田県農林水産部 農業経済課…………… 2名
- ◇ 立入検査事項
 - 検査事項第1号 公益認定の基準に関する件
 - 検査事項第2号 公益法人の事業活動に関する件
 - 検査事項第3号 公益法人の変更手続きに関する件

◇ 立入検査の結果

(令和4年1月18日付け秋公益一43号秋田県公益認定等委員会委員長通知)

公益法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）第59条第2項の規定により読み替えて適用される同法第27条第1項の規定に基づき、令和3年12月23日に貴法人の立入検査を実施した結果、良好であると認められましたので、通知します。

[4] 登 記

令和3年度 役員変更登記（任期满了）

- ◇ 登記完了日等 令和3年7月12日
- ◇ 登記申請先等 秋田地方法務局
- ◇ 登記事項等 理事、代表理事及び監事の変更

【退任役員：理事 2名】（退任日：令和3年6月30日）

役員区分	氏 名	退任区分	所 属 等
理 事	小 原 正 彦	退任	秋田おばこ農業協同組合 代表理事組合長
理 事	武 藤 隆 繁	退任	前全国農業協同組合連合会秋田県本部 園芸畜産部長

【就任役員：理事 9名・監事 3名】（就任日：令和3年6月30日）

役員区分	氏 名	就任区分	所 属 等
会長理事	斉 藤 一 志	重任	全国農業協同組合連合会秋田県本部 運営委員会会長
副会長理事	佐 藤 謙 悦	重任	あきた白神農業協同組合 代表理事組合長
理 事	小 林 肇	重任	大潟村農業協同組合 代表理事組合長
理 事	鈴 木 重 忠	新任	秋田おばこ農業協同組合 代表理事専務
理 事	高 橋 大	重任	横手市長
理 事	渡 邊 彦兵衛	重任	五城目町長
理 事	渋 谷 重 春	重任	秋印秋田中央青果株式会社 代表取締役社長
理 事	佐 藤 英 一	重任	全国農業協同組合連合会秋田県本部 副本部長
理 事	吉 田 良	新任	全国農業協同組合連合会秋田県本部 園芸畜産部長
監 事	菅 原 俊 二	重任	かづの農業協同組合 代表理事組合長
監 事	佐 藤 茂 良	重任	秋田しんせい農業協同組合 代表理事専務
監 事	柿 崎 大二郎	重任	秋田ふるさと農業協同組合 代表理事専務

[5] 秋田県公益認定等委員会への申請及び届出実績

令和2年度 申請及び届出実績	
(参考) 事業計画等の申請	
◇ 申請・届出等	事業計画書等の申請
◇ 申請・届出先	秋田県公益認定等委員会
◇ 申請等の内容	令和3年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記した書類の提出（第6回理事会 R03.03.23 承認）
◇ 提出日等	令和3年3月30日
◇ 処理状況等	完了
令和3年度 申請及び届出実績	
(1) 事業報告等の申請	
◇ 申請・届出等	事業報告等の申請
◇ 申請・届出先	秋田県公益認定等委員会
◇ 申請等の内容	令和2年度事業報告書、財務諸表等の提出 (令和3年度 第51回通常総会 R03.06.30 承認)
◇ 提出日等	令和3年6月30日
◇ 処理状況等	完了
(2) 変更の届出	
◇ 申請・届出等	役員変更の届出
◇ 申請・届出先	秋田県公益認定等委員会
◇ 申請等の内容	任期満了に伴う役員の選任 (令和3年度 第51回通常総会 R03.06.30 承認) ・ 役員の就任日(退任日)…令和3年6月30日 ・ 変更登記完了日……………令和3年7月12日 ・ 退任役員：理事 2名 ・ 就任役員：理事 9名、監事 3名
◇ 提出日等	令和3年7月21日
◇ 処理状況等	完了
(3) 事業計画等の申請	
◇ 申請・届出等	事業計画書等の申請
◇ 申請・届出先	秋田県公益認定等委員会
◇ 申請等の内容	令和4年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記した書類の提出（第4回理事会 R04.03.18 承認）
◇ 提出日等	令和4年3月31日
◇ 処理状況等	完了

[6] 諸 会 議

年	月	日	会議等の名称	場所等	
R03	4	23	R3年度JA花き担当者会議	中止（書面開催）	
	5	14	R2年度決算監査（監事監査）	秋田県JAビル	
	17		JA園芸担当部課長会議・あきた園芸戦略対策協議会幹事会	中止（書面開催）	
	20		R3年度果樹経営支援対策事業等全国説明会	Web開催	
	6	2	第1回理事会	秋田県JAビル	
	10		指定野菜の生産出荷状況調査（夏秋きゅうり：第1回）	JAかつの	
	16		指定野菜の生産出荷状況調査の打合せ（秋冬ねぎ）	JAあきた白神	
	25		指定野菜の生産出荷状況調査（秋冬ねぎ：第1回）	JAあきた白神	
	29		R3えだまめ販売戦略対策会議（主催：全農あきた）	秋田県JAビル	
	30		第51回通常総会	秋田県JAビル	
	〃		第2回理事会（役員被選任者会議）	秋田県JAビル	
	7	13	指定野菜の生産出荷状況調査（夏秋きゅうり：第2回）	JAかつの	
	30		秋田県果樹産地推進協議会に係る第1回事業推進会議	秋田県JAビル	
	8	4	指定野菜の生産出荷状況調査（夏秋きゅうり：第3回）	JAかつの	
	6		第34回秋田県果実生産出荷安定協議会総会・全体会議	秋田県JAビル	
	24		秋田県園芸作物価格補償事業に係る第1回事業検討会	秋田県JAビル	
	9	3	東北・北海道協会事務局長会議（監事：福島県）	Web開催	
	7		指定野菜の生産出荷状況調査（夏秋きゅうり：第4回）	JAかつの	
	14		指定野菜の生産出荷状況調査（秋冬ねぎ：第2回）	JAあきた白神	
	15		秋田県園芸作物価格補償事業に係る第2回事業検討会	秋田県JAビル	
	30		R3しいたけ販売会議（主催：全農あきた）	秋田県JAビル	
	10	19	指定野菜の生産出荷状況調査（秋冬ねぎ：第3回）	JAあきた白神	
	26		秋田県園芸作物価格補償事業に係る第3回事業検討会	秋田県JAビル	
	27		指定野菜の生産出荷状況調査（秋冬ねぎ：第4回）	JAあきた白神	
	11	19	秋田県果樹産地推進協議会に係る第2回事業推進会議	秋田県JAビル	
	22		秋田県園芸作物価格補償事業に係る第4回事業検討会	秋田県JAビル	
	12	3	第3回理事会	秋田県JAビル	
	7		JA園芸担当部課長会議・あきた園芸戦略対策協議会幹事会	秋田市秋田ホテル	
	23		公益法人の立入検査（3回目）	秋田県JAビル	
	R04	1	26	道県果実基金協会経理講習会・業務運営協議会（主催：中央果実協会）	Web開催
		2	2	R4年度大規模契約栽培産地育成強化事業説明会（主催：農畜機構）	Web開催
		3	4	秋田県果樹産地推進協議会に係る第3回事業推進会議	秋田県JAビル
18			第4回理事会	秋田県JAビル	

[7] 独立行政法人農畜産業振興機構 補助金

年	月	日	事業名等	金額
R03	4	9	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（アスパラガス R03.1～2）	12,102
	5	12	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（やまのいも R03.1～3）	278,206
		〃	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（アスパラガス R03.3～3）	18,343
	8	26	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（生しいたけ5～6）	175,969
	12	16	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（生しいたけ7～10）	562,347
R04	1	5	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（えだまめ6～10）	5,817,801
	2	25	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業（やまのいも6～10）	726,887
補助金計				7,591,655

[8] 公益財団法人中央果実協会 補助金

年	月	日	事業名等	金額																								
R03	7	30	果樹経営支援対策事業（未収益を含む）補助金（R3春改植） 【令和2年度実施計画承認分】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>JA名</th> <th>支援対策補助金</th> <th>未収益補助金</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かつの</td> <td>11,434,451</td> <td>9,718,180</td> <td>21,152,631</td> </tr> <tr> <td>秋田しんせい</td> <td>4,174,120</td> <td>2,860,660</td> <td>7,034,780</td> </tr> <tr> <td>秋田ふるさと</td> <td>2,506,470</td> <td>2,215,400</td> <td>4,721,870</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,820,961</td> <td>14,794,240</td> <td>32,909,281</td> </tr> </tbody> </table>	JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計	かつの	11,434,451	9,718,180	21,152,631	秋田しんせい	4,174,120	2,860,660	7,034,780	秋田ふるさと	2,506,470	2,215,400	4,721,870	計	20,820,961	14,794,240	32,909,281	32,909,281				
JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計																									
かつの	11,434,451	9,718,180	21,152,631																									
秋田しんせい	4,174,120	2,860,660	7,034,780																									
秋田ふるさと	2,506,470	2,215,400	4,721,870																									
計	20,820,961	14,794,240	32,909,281																									
R04	1	11	果樹経営支援対策事業（未収益を含む）補助金（R3秋改植） 【令和2年度実施計画承認分（第2次）】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>JA名</th> <th>支援対策補助金</th> <th>未収益補助金</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田しんせい</td> <td>2,705,920</td> <td>1,860,320</td> <td>4,566,240</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,705,920</td> <td>1,860,320</td> <td>4,566,240</td> </tr> </tbody> </table> 【令和3年度実施計画承認分（自然災害R2年12雪害）】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>JA名</th> <th>支援対策補助金</th> <th>未収益補助金</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田ふるさと</td> <td>2,616,270</td> <td>2,941,620</td> <td>5,557,890</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,616,270</td> <td>2,941,620</td> <td>5,557,890</td> </tr> </tbody> </table>	JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計	秋田しんせい	2,705,920	1,860,320	4,566,240	計	2,705,920	1,860,320	4,566,240	JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計	秋田ふるさと	2,616,270	2,941,620	5,557,890	計	2,616,270	2,941,620	5,557,890	10,124,130
JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計																									
秋田しんせい	2,705,920	1,860,320	4,566,240																									
計	2,705,920	1,860,320	4,566,240																									
JA名	支援対策補助金	未収益補助金	計																									
秋田ふるさと	2,616,270	2,941,620	5,557,890																									
計	2,616,270	2,941,620	5,557,890																									
補助金計				43,033,411																								
R04	3	17	都道府県推進事務費	1,599,260																								
		25	支援事業推進事務費	1,411,080																								
事務費計				3,010,340																								
合計				46,043,751																								

[9] 秋田県農林水産部 農業経済課 補助金

年	月	日	事業名等	金額
(返納補助金)				
R04	1	14	秋田県園芸作物価格補償事業費補助金 （令和3年12月28日付け農経－2129による返納補助金）	4,046,156
	3	4	特定野菜価格安定事業費補助金 （令和4年2月15日付け農経－2390による返納補助金）	12,795,087
補助金計				16,841,243

[1 0] 秋田県園芸作物価格補償事業の価格差補給交付金交付実績

年	月	日	交付対象品目等	金 額	
R03	8	16	ほうれんそう (4~6)	95,393	
	9	17	そらまめ (6~7)	108,009	
	10	18	みょうが (8~8)	99,194	
	11	26	キャベツ (6~9)	91,087	
		"	ねぎ (7~9)	253,935	
		"	きゅうり (7~9)	15,367,084	
		"	トマト (7~9)	880,923	
		"	ミニトマト (7~9)	1,669,143	
		"	ピーマン (7~9)	7,900	
		"	ししとうがらし (8~9)	531,260	
		"	さやいんげん (6~9)	25,488	
		"	ばれいしょ (6~9)	136,864	
		"	輪菊 (8~9)	157,566	
		"	小菊 (8~9)	139,768	
	12	27	かぼちゃ (6~10)	165,368	
"		米なす (8~10)	1,042,317		
"		えだまめ (7~10)	4,471,694		
"		みょうが (9~10)	533,866		
"		りんどう (7~10)	6,643,040		
R04		1	25	きゅうり (10~11)	186,480
			"	ミニトマト (10~11)	3,400,044
		"	ダリア (9~11)	114,136	
	2	24	キャベツ (10~12)	1,392	
		"	ほうれんそう (9~12)	445,843	
		"	ねぎ (10~12)	17,187,732	
		"	かぼちゃ (11~12)	138,370	
	"	小菊 (10~12)	131,271		
事 業 計				54,025,167	

[1 1] 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の価格差補給交付金交付実績

年	月	日	交付対象品目等	金 額
R03	4	9	アスパラガス (1~2) (令和2年度事業分)	24,204
	5	12	やまのいも (1~3) (令和2年度事業分)	834,618
		"	アスパラガス (3~3) (令和2年度事業分)	36,687
	8	26	生しいたけ (5~6)	527,908
	12	16	生しいたけ (7~10)	1,687,042
R04	1	5	えだまめ (6~10)	17,453,416
	2	25	ながいも以外のやまのいも (10~12)	2,180,663
事 業 計				22,744,538

[12] 役員等

(令和4年3月31日現在)

役員区分等		前年度末 現 在	本年度					年度末現在
			退 任	重 任	新 任	辞 任		
理 事	農 業 協 同 組 合	3	1	2	1	0	3	
	市 長 会	1	0	1	0	0	1	
	町 村 会	1	0	1	0	0	1	
	卸 売 会 社	1	0	1	0	0	1	
	連 合 会	3	1	2	1	1	2	
	計	9	2	7	2	1	8	
監 事	農 業 協 同 組 合	3	0	3	0	0	3	
	計	3	0	3	0	0	3	
合 計		12	2	10	2	1	11	

※ 令和3年度は、任期満了に伴う役員改選を実施した。

[13] 職員等

(令和4年3月31日現在)

職員 区分	前年度末 現 在			本年度									備 考
				退 職			採 用			年度末現在			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
事務局長	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	R03.03.31 退職 R03.04.01 再雇用
事務職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出向職員	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	H31.04.01 採用 R03.04.01 採用
計	0	2	2	0	0	0	1	0	1	1	2	3	出向制度 H19.12~実施

7 事務費負担金

[1] 事務費負担負担金の徴収実績

平成16年度より財政健全化対策の一環として「対象事業に加入する生産者」より、協会で定める事務費負担金徴収要領に基づき事務費負担金の徴収を実施するもので、令和3年度にあつては、第六期対策の3年度にあたり適正なる徴収を行うとともに、当該事務費負担金徴収総額は、**15,764**千円（前年比**85%**）で、その明細は下記のとおりとなった。

(単位：円・千)

区 分	本年度予算額 ①	本年度徴収額 ②	差 異 ③=②-①	前年度徴収額	前年比
園芸作物事業関係	9,000,000	7,769,541	△1,230,459	9,572,872	81
特定野菜事業関係	8,000,000	7,994,910	△5,090	8,873,490	90
合 計	17,000,000	15,764,451	△1,235,549	18,446,362	85

(過去の徴収実績)

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02	R03
園芸	14,337	12,794	12,679	8,689	8,289	8,977	8,595	8,315	8,421	8,852	11,584	12,191	12,408	12,362	12,352	10,224	9,573	7,769
特定	12,508	11,750	12,460	7,459	6,222	6,579	7,410	8,405	7,867	7,527	9,803	9,459	11,348	12,235	12,593	9,647	8,873	7,995
果実	2,309	1,447	1,491															
計	29,154	25,991	26,630	16,148	14,511	15,556	16,005	16,720	16,288	16,379	21,387	21,650	23,756	24,597	24,945	19,871	18,446	15,764